

呉市観光振興計画策定の必要性及びスケジュール（案）

資料3

1 呉市観光振興計画策定の必要性

国の現状と方針

- ・ 2052年に人口は1億人程度、少子高齢化の急速な進行により、2065年には総人口の約38%が65歳以上になる見通し。

生産年齢人口は現在の6割近くまで減少する見込み。

→少子高齢化が進む中、目指すべきは「交流人口の拡大」。

- ・ 観光は我が国の成長戦略の柱、地方創生への切り札であるという認識の下、拡大する世界の観光需要を取り込み、世界が訪れたい「観光先進国・日本」への飛躍を図ることを目的に、国は「観光立国推進基本計画」を策定し、**観光産業を我が国の基幹産業へと成長させていくこととした。**

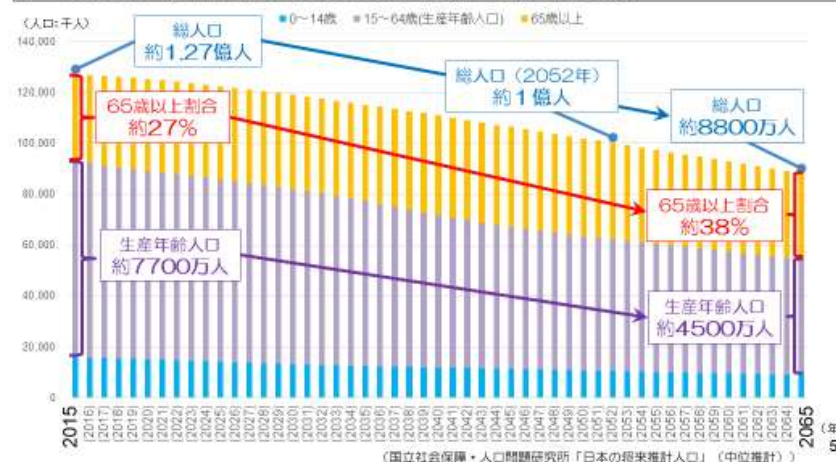
※観光立国の実現に関する目標

訪日外国人旅行者数 2020年：4000万人 2030年：6000万人

訪日外国人旅行消費額 2020年：8兆円 2030年：15兆円

人口減少・少子高齢化の推移・予測

- 今後、人口減少が進み、2052年には1億人程度となる見通し。
- 少子高齢化が急速に進行しており、2065年には総人口の約38%が65歳以上になる見通し。
- それにより、生産年齢人口は現在の2065年には現在の6割近くまで減少。



呉市の現状と課題

- ・ 呉市でも同様に、**人口減少と少子高齢化の進行による、生産年齢人口の減少が見込まれる。**
- ・ さらに、日本製鉄(株)瀬戸内製鉄所呉地区の休止方針・新型コロナウイルスの感染症の影響により、市内総生産額は減少する見通し。
→本市においても、交流人口を拡大させ、観光産業を新たな基幹産業のひとつとする必要がある。
- ・ 本市は大和ミュージアム開館を機に観光客は増加したが、**多くの市民にとっては観光=産業の意識は希薄。**
→市民の観光に対する意識の醸成を図ること、観光産業を推進していくための新たな体制が必要。

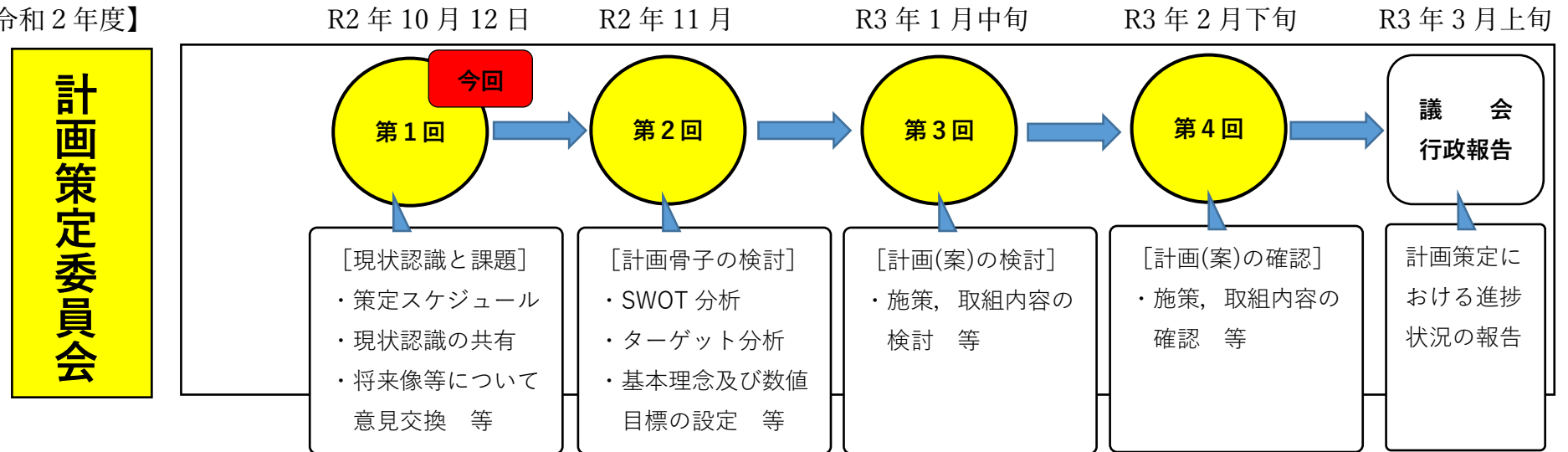
**市民・事業者・行政が一体となって観光を産業と捉え、
観光産業を戦略的に取り組む必要性を示す「呉市観光振興計画」を策定する**

呉市観光振興計画策定の必要性及びスケジュール

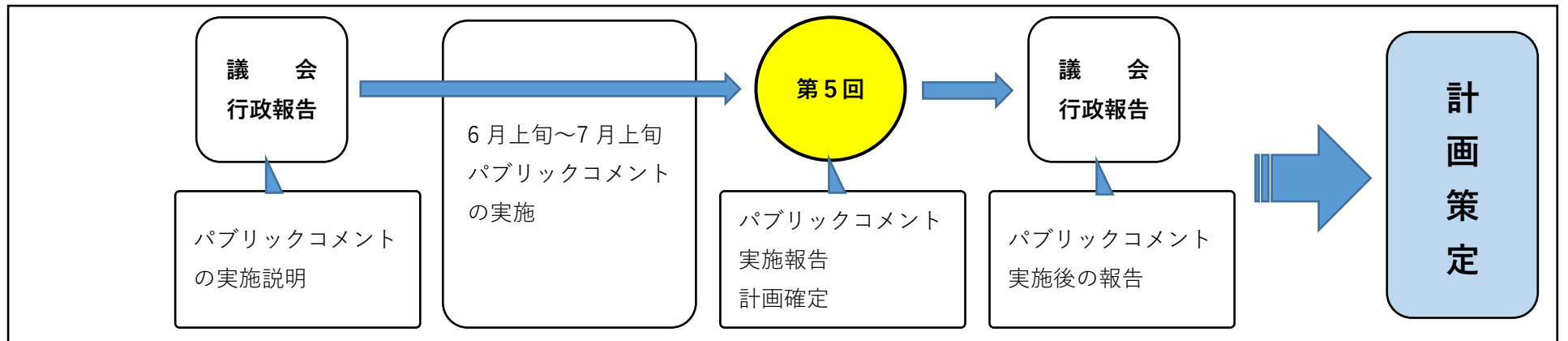
2 スケジュール（案）

「呉市観光振興計画」の策定に向けて、全5回の委員会の実施を想定。現状認識と課題、計画の方向性、施策、取組内容等について意見交換・検討を行う。

【令和2年度】



【令和3年度】 R3年6月上旬



※今後、会議の進行状況に応じて変更することがある。